

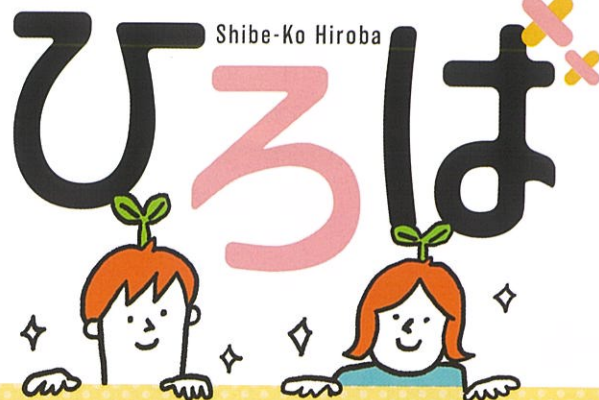
標津高等学校

教育振興会 広報誌

VOL. 156

令和7年3月1日発行

地域で育てる標津高校



祝

標津高等学校
第71期生

卒業証書授与式

新しい日常生活が始まる皆さんへ



標津高等学校教育振興会
会長 梅木 雅則

皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。

三年間という長い人生の中のごくく握りの時間の中で皆さんは、見違える様に立派に成長されました。これはひとえに標津高校という学び舎の中で、友達・先生方とのふれあいの中で、皆さん自身が学び得た努力の賜物です。

私達振興会と皆さんとの関わりが最も深かったのは学校祭だと思います。

元気な声が響きわたる校内で皆さんと一緒に過ごした時間はかけがえのないものでありました。私がPTA時代に行っていた「おやじ屋台」が教育委員会の協力のもと、復活出来た事も大きな喜びになりました。

私も本校の卒業生ですが、皆さんの屈託のない笑顔を拝見しておりますと、自身の高校生時代のことと重ね合わせ、どこか懐かしく嬉しく温かな気持ちを持って筆を持っております。

明日になれば、それぞれの新しい日常が待っているわけですが、楽しい事、嬉しい事が沢山あるのが社会であれば同時に、辛い事、寂しい事があるのも社会です。どうか自分を信じて生きていってほしい、そう強く思います。

人生のなかでいき詰まった時には三年間共に過ごした友達がいいます。先生方がいます。もちろん私達だっています。皆を頼る事も大切な事と思います。期待しています。

保護者の皆様、この度は大切なお子様のご卒業、誠におめでとうございます。卒業される皆さんに心からの祝福を贈り、ご挨拶とさせていただきます。ご卒業、本当におめでとうございます。



北海道標津高等学校
校長 渡辺 幹夫

標高生のパワーに驚愕

本日ここに、第71期生19名の卒業にあたり、標津高等学校教育振興会・標津町教育関係者の皆様、さらには町民の皆様より、今日まで多大なるご支援とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

さて、本校は、令和4年度に地域連携校となり、1間口となりました。その関係で、生徒数及び教員数が減少し、令和6年度の入学生が16名となってしまい、ここ最近では、最少の人数となりました。道教委の方針では、2年連続で入学者数が一桁になると、統合再編の対象となると言われており、標津高校も将来的には、地元の小中学生の人数を考えると危機的な状況を迎えるかもしれないと思い、町教委と相談の上、令和7年度から全国募集を開始することにしました。しかし、最初は、名も知れない高校に果たして来てくれるのだろうかという不安がありましたが、そんなことを言っている場合ではないと判断し、どうすれば、標津高校を全国に知ってもらえるか、悩みました。そんな時に、ある高校の校長先生からアドバイスをいただく機会がありました。「生徒達に訴えたいいいよ」とか、「生徒達にPR大使になってもらったらいいよ」と助言をいただき、目が覚めました。今年度の始業式で、全校生徒の前で、標津高校の現状や将来的な不安要素を話したところ、嬉しいことに、卒業生をはじめとして多数の生徒達が、標高のPR大使として名乗り出てくれました。東京や大阪での高校進学説明会や中学校訪問、中学校に出向いての高校説明会、体験入学会等に生徒達を中心となり本校をPRしてくれたおかげで、全国から5名、道内から1名の中学生が、本校を受検してくれるという予想外の嬉しい結果となり、改めて、生徒達のパワーの凄さに驚愕しました。その他にも、本校の特色ある取組に積極的に参加してくれており、その一つに、防災減災活動がありますが、今年度、防災普及部門において内閣総理大臣賞を受賞しました。また、フードデザインの履修者による商品開発においては、鮭ぶし味のザンギや鹿肉ブラウンシチューなどを卒業生が考案し、学校祭や給食に提供したところ、地元のこども園や小中学校の児童生徒達にも大好評でした。このような特色ある取組が全国募集のPRに繋がったように思います。

終わりになりますが、今後も、このような特色ある取組を推進し、全国の生徒から選ばれるような学校を目指して参りたいと思いますので、地域の皆様方のご理解とともに、卒業生に対するご指導とご鞭撻をお願いいたします。

卒業生の言葉 MESSAGE

この春、めでたく標高を卒業する3年生。
みなさんの輝く未来を町ぐるみで応援します！



3年A組
小林 巧

夢である四大監査法人を目指し、進学します！

私は4月から北海学園大学に進学します。将来は、公認会計士資格を取得し、四大監査法人に就職したいと思い、経営学、会計学などを学べる北海学園大学に進学を決めました。私は、3年間、主に受験勉強、資格勉強をしてきました。受験勉強では、室田先生に朝と放課後に数学を教えてもらいました。忙しいのにも関わらず、ほぼ毎日勉強を教えてくださいましたので、とても感謝しています。資格取得に向けた勉強では、英検、危険物、数検に取り組んできました。資格があれば、進学、就職で有利になります。標津高校では、資格・検定に合格すると、標津町からの支援により、受験費用が補助されるので、在校生の皆さんにはたくさん取ることをお勧めします。

進路活動では、先生方にたくさん迷惑をかけてしまいましたが、最後まで手厚く、サポートしていただいたおかげで、安心して受験に向かうことができました。本当にありがとうございました。大学に入学し、目標を達成できるように頑張ります。



3年A組
岩間 優

学んだことを活かし、立派な社会人を目指します！

私はこれから社会人になります。この3年間で、たくさんのことに挑戦し、学んできました。

生徒会活動では、さまざまな行事への取り組みから、企画立案から実現までの難しさを知りました。また、防災・減災活動では、過去に起きた災害からどのような対策を取ることができるかを学ぶことができました。一方、就職するにあたっては、資格を取るなどこれまで取り組んでこなかったことにも挑戦してきました。

今後、社会人となり働いていく自分の姿は想像が付きません。今まで学生の際に学んだすべてのことを活かせることは、そうないかもしれませんし、新たな環境には不安があることも事実です。ですが、そんな不安を抱えながらも、今まで培ってきたことを活かし、今後も学ぶことを辞めずに、少しでも早く社会人としてお役に立てるように頑張っていきたいです。

これまで支えてくださった方々への感謝を忘れず、前へ進んでいこうと思います。

在校生から 卒業生へ

MESSAGE



2年A組
若月 桃

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年間大変お世話になりました。3年生の行事のときにやるときはやる、メリハリのある姿がとてもかっこよく、印象に残っています。先輩たちの背中を見て多くのことを学ばせていただきました。先輩たちから学んだことを今後の学校生活に活かしていきたいと思います。

卒業後は、それぞれ新しい環境に進むことになります。この先はきっと今まで以上に楽しいことや困難が訪れると思います。その道に進むまでも、たくさんの困難があったと思います。ですがその壁を乗り越えられた先輩ならどんな壁も乗り越えられると思います。標津高校で学んだ知識や経験は、絶対に裏切ることはありません。自分を信じて夢に向かって進み続けてください。

在校生一同先輩たちの頑張りを応援し、これからの生活が良いものになるよう願っています。

CONGRATULATION!!

お祝いの言葉

3年A組担任 高村 慎太郎

令和6年度卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

3年間の高校生活では、楽しかったことのみならず、辛かったことや苦しかったこともたくさんあったと思いますが、無事に卒業の日を迎えることができ、私も安心しております。

皆さんが3年間の充実した高校生活を送ることができたのは、保護者の方々をはじめ、標津高等学校教育振興会、地域の方々、そして先生方など、たくさん支えがあったからです。自分一人では、絶対にこの日を迎えられていないはずですので、感謝の気持ちを忘れないでください。感謝の気持ちを言葉で伝えることはもちろんですが、標津高校の卒業生として、活躍している姿からもそれは伝えられると思います。

4月からの進路はさまざまですが、将来的には必ず、全員が社会人として働くことになります。たくさんの困難も待ち受けているかもしれませんが、自分自身が身につけた能力を生かして、ぜひ「誰かを喜ばせることができる人」になることを期待しています。

卒業おめでとうございます！



令和6年度卒業生

進路決定状況

※2月3日現在

大学・短大への進学状況

- 文教大学 ● 北海学園大学

各種専門学校等への進学

- 北海道立漁業研修場 ● 札幌プライダル&ホテル観光専門学校
- 北海道中央調理技術専門学校(2) ● 東京アニメーションカレッジ専門学校
- 札幌ベルエポック製菓調理専門学校 ● 札幌こども専門学校
- 札幌調理製菓専門学校 ● 北海道理容美容専門学校

公務員・民間企業等への就職

- 標津町役場(2)
- 計根別農業協同組合 ● コマツ道東 株式会社
- 愛国デンタルクリニック ● 東盛運輸 株式会社
- 株式会社 はなまる



進路指導部長より

今年度卒業予定者の道内求人倍率は、物価上昇による求人への影響が懸念される中、前年とほぼ同様の3.5倍で推移し、本校も多くの求人に恵まれました。今年度は3年生の6割が進学希望でしたが、どの生徒も希望する大学や専門学校を目指して努力を重ねました。

今年度、進路指導部では各種進路ガイダンスや進路講話、職業分野研究や大学キャンパス体験、インターンシップ体験を通して、生徒自身が進路選択の視野を広げ、将来への道筋を立てることができるようキャリア意識の向上を促してまいりました。

また、標津町からのご支援による「スタディサプリ」を活用し、社会人として必要な基礎・基本の学力定着を図り、「到達度テスト」の結果に基づいた運動課題を個別に配信することで生徒の学びをサポートしています。さらに、企業見学やインターンシップ、農業体験においては、訪問させていただいた町内企業の方々、事業所の方々からご理解をいただき実施することができました。改めて本校の教育活動、進路活動へのみなさまからの多大なるご支援・ご協力に、この場を借りてお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

資格・検定 合格者の 紹介



実用英語技能検定準2級／日本漢字能力検定2級／実用数学技能検定準2級合格 2年A組 下 美咲



トリプル合格!!!

今年度は、検定を2個以上取得することが目標だったので、まず6月に英検を受験しました。英検自体が初めてだし、英語が苦手なので受かるか不安でしたが、筆記も面接も合格することができました。11月の漢検は思い切って2級に挑戦しました。最初は全く受かる気配がなく、四字熟語や熟語を覚えるのに苦労しましたが、対策したおかげで、当日は余裕を持って解けたので良かったです。1月には、数検を受験しました。一次試験は大丈夫だったけど、二次試験で解けるはずだった問題を落としてしまい、絶対に不合格だと思っていました。なので合格したとわかってすごく安心しました。

最終的に今年度は上記の検定を含め、6個の検定を取得することができ、これからの自分の強みになったし、ちゃんと勉強して、結果を出せたことが嬉しかったです。

ビジネス文書実務検定2級合格 2年A組 佐藤 猛



私は、11月24日に「ビジネス文書実務検定2級」を受験しました。昨年度、3級に合格して「2年生で2級を合格する」という目標を立てて対策をしてきました。特に筆記試験に力を入れました。過去問を解いて間違ったところは、そのままにせず用語一覧から間違った単語を探し、マーカーをして覚える。コマンドは実際に入力して覚えるなど工夫して勉強することができました。また、速度部門は、2級を合格するには問題ないスピードだと思っていたのであまり練習せずに迎えたのですが、合格することができました。来年度は一級合格を目標に頑張ります。

NoMaps釧路・根室2024 高校生ビジネス&地方コンペティション「審査員特別賞」受賞 2年A組 濱崎 佳志乃



私は、12月19日に釧路で行われた「高校生ビジネス&地方創生コンペティション」に参加しました。10月8日～10月11日に沖縄県へ見学旅行に行き、そこで平和について学び、それをもとに標津町でできる地域活性化のためのビジネス&地方創生の企画を考えました。プレゼンを作成していく中で標津町がどのように活性化すれば良いのかを考え、仲間と真剣に話し合い繰り返し試行錯誤を行った結果、審査員特別賞を受賞することができました。このように標津町を活性化するためのきっかけの一つとして審査員特別賞を受賞でき、とても嬉しく思いました。これからも引き続き、標津町に貢献し街の人や観光客が過ごしやすいまちづくりを頑張りたいと思います。

標津高校公認マスコットキャラクター

うしべつくん
誕生!!

- 好奇心旺盛でマイペースな男の子
- 趣味／筋トレ・自然観察
- 好きな食べ物／タンポポ・鮭ばし

うしべつくんだも～!



12月19日(木)に釧路プリンスホテルで行われたNoMaps釧路・根室2024高校生ビジネス&地方創生コンペティションに2年生(加藤、齊藤、島田、中條、濱崎)が参加し、「審査員特別賞」を受賞しました。

標津町活性化のための提案の一つとしてマスコットキャラクター「うしべつくん」を考案し、全校生徒・全教職員から本校公認マスコットキャラクターとして承認してもらいました。今後の標津高校のPRで「うしべつくん」に活躍してもらいたと思います。



標高
ならではの!

魅力あふれる教育活動がたくさんです!

沖縄で思い出いっぱい
できました!!



01
TRAVEL

見学旅行を終えて

令和6年10月8日～11日



2年A組 山谷 快勢

私達は沖縄に見学旅行に行きました。

一日目は、ほとんど移動でしたが泊まったホテルの夕食が沖縄ならではの料理で、すごく美味しかったのを覚えています。

二日目は、まず初めに平和学習をしました。平和学習では戦争当時の出来事などを聞かせてもらいました。その後はバナナポートとシュノーケリングをしました。シュノーケリングは初めてでしたが、沖縄の海は言葉に出来ないくらいに幻想的で綺麗でした。三日目は美ら海水族館と自主研修でした。美ら海水族館は今まで行った水族館の中で一番凄かったと思います。自主研修では、それぞれみんな好きなところに行って沖縄を満喫できました。そして最終日には首里城に行きました。首里城は復元中のため実物を見ることはできませんでしたが、むしろ今しか見られないものを見られて貴重な体験ができました。

私達は今までと違うこの見学旅行を通して、クラスメイトとの最高の思い出にもなり、本当に貴重な体験ができたと思います。ありがとうございました。

02
FORUM

知床ユネスコ フォーラム

令和6年11月2日



2年A組 今村 朱夏

私は、斜里町で行われた「知床ユネスコフォーラム2024」に生徒会役員として参加してきました。今回は「ごみ問題からSDGs」というテーマで話し合ってきました。

午前中は知床圏の4高(羅臼・標津・斜里・清里)で各学校の活動報告を行いました。報告内容では、去年と引き続き同じ活動を行っている高校やジェンダーレスについて活動を行っている高校がありました。また、森の復活を願い植樹をしていたりゴミ問題について向き合っている高校が多かったイメージがありました。

午後からは、グループワークを行い意見交換会を行いました。グループワークでは、各町の問題について話し合い共通点を見つけ対策を考えました。どのグループも環境に関連した問題が課題に上がっていました。ポイ捨て問題や自然災害について考えているグループが多かったです。定期的にゴミ拾いをし街をきれいにしつつヒグマなどが降りてこなくなろうという考えがたり、また学力低下についての課題を出しているグループもありました。

このように今年も、いろいろな取り組みや意見が聞けて勉強になりました。

03
STUDY

防災学習 出前授業

令和6年9月25日



2年A組 島田 乃愛

私たち生徒会は、昨年の9月に標津中学校で防災に関する出前授業を行いました。

今回の出前授業では、夏休み中に参加した防災研修についての発表とHUGを行い、中学生と交流をしました。防災研修の発表では、熊本地震や熊本豪雨、雲仙普賢岳の噴火活動について、語り部さんから聞いたことや現地で学んだことを中心に発表をしました。私は中学生のときに、標津高校の生徒会みなさんに出前授業をもらったことがあり、そのときに初めてHUGというものを知りました。そのときはHUGを体験する側だったけど、今回は私がHUGについて教える側だったので、中学生に上手く伝えるように工夫するのが大変でした。スムーズに進行できなかったのですが、みんな自分の意見をはっきり伝えて助け合っていたので無事に最後まで終わらせることができました。なかには、私が思いつけないような斬新な考えを持っている子がいて勉強になりました。今回の出前授業を通して、防災について深く考えてくれたらいいなと思いました。これからも標津町みなさんの防災意識を向上させられるように生徒会の活動を頑張っていきたいです。

04
STUDY

地域の
食文化

サケ学習

～サケの山漬け作り～



本校は、海洋教育バイオニクススクール単元開発(日本財団)に取り組み、今年で6年目となり、その中でもサケ学習は、海洋教育の中核をなす学習活動となっています。

今年は、新たな取り組みとして、サケ学習の発展に取り組みしました。毎年、サケ稚魚の人工授精から稚魚の飼育管理、成長の記録、そして放流。さらに地域の海洋環境を総合的に学び、サケを取り巻く海洋への理解を深めます。今年度は、さらに深めて食文化を学びに取り入れるために、伝統の山漬け作りにチャレンジしました。山漬け作りの講師は、サーモン科学館の西尾さん、そして、山漬けと地域のおいしい食材(出汁)との関わりを教えていただいたのがAmutokiでローカルガイドをしている齋藤さんです。まずは、新鮮な鮭を材料にサケを捌き、塩をすり込み、つけ込みます。その後は、毎日山漬けを観察し、塩を追加したり、脱水された水を捨てたり、手をかけました。塩抜きをして、3日間風乾の後、完成しました。できあがった山漬けは、「根室海峡鮭茶漬」として、こんがり焼き上げ、地域の出汁とともにおいしくいただきました。一手間かけた鮭は、味わい深く、この地域で愛されてきたのも理解できました。この授業を通して、地域で作られてきた山漬けを生徒たちに伝えるとともに、新たな世代で食文化を伝える大切さを学んでくれたと思います。